

大学ICT推進協議会 事業内容・活動紹介

2019年6月1日現在

AXIES 大学ICT推進協議会

大学ICT推進協議会のビジョン・ミッション・ストラテジ

ICTを利用した高等教育・学術研究機関の
教育・研究・経営の飛躍的強化

ミッション:
ICT利活用による

}	1. 効果的・多様な教育の実現
	2. 研究推進環境の構築
	3. 機関経営の改善

ストラテジ

1. 共通技術基盤・組織基盤の構築・維持
2. 方法論と支援するツール群の開発・共有
3. 教員・職員・学生のICT利活用力強化
4. 幹部・サポートスタッフの養成とキャリア形成

AXIES 大学ICT推進協議会

ICT マネジメントの必要性

- 教育・研究および事務を支える ICT の重要性がますます高まる中、ICT 利用の大学経営へのインパクトが大きくなってきている
- 特に、教育活動においては、学問分野に関係なく ICT 利活用は当たり前となってきているとともに、ICT の利活用を通じたさらなる教育の質的向上が求められ始めている
- 情報基盤からコンテンツ、利用者教育まで、様々な側面からアプローチが必要だが、予算・人材など必要なリソースは極めて限定されている

失敗を少なくし、多くの成功をもたらすマネジメントが必要

AXIES 大学ICT推進協議会

米国EDUCAUSE

<http://www.educause.edu/>

- 米国の大学におけるICTに関わる二つの組織(EDUCOM, CAUSE)を、1998年に統合してできた業界団体(NPO)
- 「ICTの活用を推進することにより高等教育を発展させる」ことを目的
- 現在、約2,200の大学・教育関係組織が加盟（約250の企業会員を含む、会費制）
- 毎年7,000～8,000人が参加する年次大会を開催

AXIES 大学ICT推進協議会

設立の経緯

- 1 国立大学情報教育センター協議会（旧情報処理教育センター協議会）と全国共同利用情報基盤センター長会議の協議内容の重複解消について議論
- 2 米国EDUCAUSE年次大会の機会毎での有志の議論の中で
 - ・教育・研究・事務・マネジメントのための総合的な大学ICTの協議の場
 - ・別々に行っているSDのための集会を一堂に行い、情報交換の場の拡大の必要性が認識され、大学ICT推進協議会の設立準備を開始
- 3 情報系センター教員のボランティアを中心に設立準備会を作り準備を開始
- 4 2010年12月の情報教育研究集会最終日に設立総会を開催
- 5 一般社団法人として設立登記（2011年2月1日）
- 6 情報教育センター協議会解散（2011年3月）

AXIES 大学ICT推進協議会

目的

この法人は、会員間の相互連携・協働を通じて、我が国の高等教育機関及び学術研究機関（以下「高等教育・学術研究機関」という。）における情報通信技術を利用した教育、研究、経営等の高度化を図り、もって我が国の教育、学術研究、文化及び産業の発展に寄与することを目的とする。

AXIES 大学ICT推進協議会

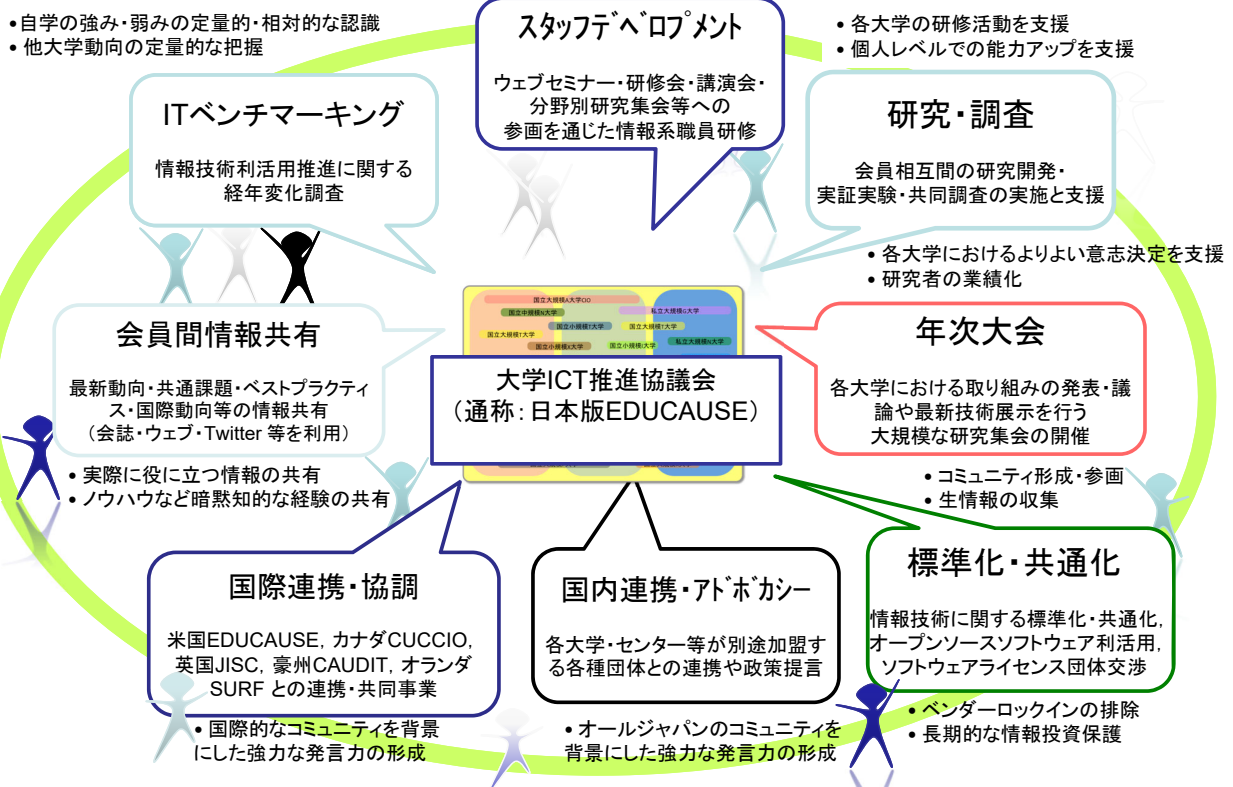
事業

1. 高等教育・学術研究機関の教育活動、研究活動及び経営戦略に資する情報の収集・共有
2. 情報通信技術の利用に関するファカルティデベロップメント・スタッフデベロップメント等人材育成・能力開発に関する連携・協力
3. 情報通信技術を教育、研究、経営等の高度化に利用する手法に関する研究及び調査
4. 研究発表会及び講習会などの開催
5. 高等教育・学術研究機関における情報通信技術の利用に関する政策の提言
6. 高等教育・学術研究機関における情報通信技術の利用を推進する国内外の機関及び団体との連携・協力
7. 標準化及び共通化の推進及び普及啓発
8. その他前各号の事業に関連した目的を達成するために必要な事業

AXIES 大学ICT推進協議会

主な事業活動

会員機関のボランティアメンバが主導



会員

- **正会員**：大学、短期大学、高等専門学校又は大学共同利用機関（以下「大学等」）を設置する法人若しくは文部科学省が所管する国立研究開発法人で、この法人の目的に賛同して入会した法人
 - 同一法人が複数の大学等を設置する場合は、この法人の目的に賛同して入会した大学等を代表する個人（以下「機関代表者」）。
 - 地方自治体等が設置する大学等についてはこの法人の目的に賛同して入会した機関代表者
- **賛助会員**： この法人の目的事業を賛助する法人または団体
- **名誉会員**： この法人の事業範囲において、特別の功績があり、理事会の議決を経て推薦された個人

AXIES 大学ICT推進協議会

入会金及び会費

- **入会金**：当分の間は0円
- **会費**：
 - 正会員：10万円（年間）
 - 賛助会員：10万円×□数（年間）（2□以上）

※入会初年度については入会時期により減額

7月1日～ 9月30日 年額の3/4

10月1日～12月31日 年額の半額

1月1日～ 3月31日 年額の1/4

AXIES 大学ICT推進協議会

組織と会議

- 役員
 - 理事：15名（うち会長1名，副会長1名）
 - 監事：2名
 - 任期2年（再任あり）
- 理事会
 - 年6回程度を予定，遠隔参加
- 各種部会を設置（現在，12部会）
- 総会：毎年5月に開催
- 年次大会：毎年11月～12月に開催
- 事業年度：4月から翌年3月

AXIES 大学ICT推進協議会

役員 (2019年5月23日総会後)

会長	深澤 良彰	早稲田大学
副会長	相原 玲二	広島大学
理事	阿多 信吾	大阪市立大学
理事	上田 哲史	徳島大学
理事	漆谷 重雄	国立情報学研究所
理事	菊池 浩明	明治大学
理事	喜多 一	京都大学
理事	近藤 智嗣	放送大学
理事	谷口倫一郎	九州大学
理事	鶴 正人	九州工業大学
理事	中村 修	慶應義塾大学
理事	早川 美德	東北大学
理事	棟朝 雅晴	北海道大学
理事	森 健策	名古屋大学
理事	目加田慶人	中京大学
監事	小笠原 司	奈良先端科学技術大学院大学
監事	下條 真司	大阪大学

AXIES 大学ICT推進協議会

正会員 (50音順：2019/6/1現在 115機関)

愛知学院大学	関東学院大学	滋賀大学	東京大学	福岡大学
愛知教育大学	畿央大学	静岡大学	同志社大学	法政大学
愛知県立大学	岐阜大学	静岡文化芸術大学	東北学院大学	放送大学
青山学院大学	岐阜工業高等専門学校	芝浦工業大学	東北大学	北陸先端科学技術大学院大学
岩手大学	九州工業大学	島根大学	徳島大学	北海道情報大学
愛媛大学	九州大学	首都大学東京	獨協大学	北海道大学
大分大学	京都教育大学	城西大学	豊田工業大学	松山大学
大阪教育大学	京都工芸繊維大学	信州大学	豊橋技術科学大学	三重大学
大阪経済大学	京都大学	成城大学	長崎大学	宮崎大学
大阪産業大学	京都薬科大学	創価大学	名古屋学芸大学	武蔵大学
大阪商業大学	近畿大学	大同大学	名古屋工業大学	室蘭工業大学
大阪市立大学	熊本大学	大東文化大学	名古屋大学	明治学院大学
大阪大学	群馬大学	千葉商科大学	奈良女子大学	明治大学
大阪府立大学	慶應義塾大学	中京大学	奈良先端科学技術大学院大学	明治薬科大学
岡山大学	工学院大学	中部大学	南山大学	目白大学
沖縄大学	高知大学	筑波大学	日本女子大学	横浜国立大学
香川大学	高知工科大学	津田塾大学	日本薬科大学	立教大学
鹿児島大学	甲南大学	都留文科大学	弘前大学	立正大学
神奈川工科大学	神戸市外国語大学	帝京大学	広島修道大学	琉球大学
金沢大学	神戸大学	帝塚山大学	広島市立大学	流通経済大学
鹿屋体育大学	国立情報学研究所	東海大学	広島大学	麗澤大学
関西大学	産業能率大学	東京家政大学	フェリス学院大学	和歌山大学
関西学院大学	滋賀県立大学	東京工業大学	福岡工業大学	早稲田大学

賛助会員 (50音順：2019/6/1現在 65社)

- ・ アカマイ・テクノロジーズ合同会社
- ・ 株式会社朝日ネット
- ・ Apple Japan合同会社
- ・ アドビシステムズ株式会社
- ・ アマゾンウェブサービスジャパン株式会社
- ・ アラクサラネットワークス株式会社
- ・ 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- ・ ヴィエムウェア株式会社
- ・ 株式会社内田洋行
- ・ 株式会社映像センター
- ・ エイチ・シー・ネットワークス株式会社
- ・ エクスジェン・ネットワークス株式会社
- ・ SCSK株式会社
- ・ NTTコミュニケーションズ株式会社
- ・ 株式会社NTTPCコミュニケーションズ
- ・ エプソン販売株式会社
- ・ カゴヤ・ジャパン株式会社
- ・ 兼松エレクトロニクス株式会社
- ・ キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- ・ 九州NSソリューションズ株式会社
- ・ 株式会社国際テクノロジーセンター
- ・ 株式会社コンフィック
- ・ サイオステクノロジー株式会社
- ・ さくらインターネット株式会社
- ・ 株式会社シー・オー・コンヴ
- ・ シスコシステムズ合同会社
- ・ 株式会社システムインテグレータ
- ・ 株式会社シマンテック
- ・ ジュニパーネットワークス株式会社
- ・ ソニービジネスソリューション株式会社
- ・ テクマトリックス株式会社
- ・ 株式会社東和エンジニアリング
- ・ トレンドマイクロ株式会社
- ・ Dropbox Japan株式会社
- ・ 西日本電信電話株式会社
- ・ 株式会社日経BP
- ・ 日本オラル株式会社
- ・ 日本システム開発株式会社
- ・ 日本システム技術株式会社
- ・ 日本データバシフィック株式会社
- ・ 日本電気株式会社
- ・ 日本マイクロソフト株式会社
- ・ ニュータニックス・ジャパン合同株式会社
- ・ ネットワンシステムズ株式会社
- ・ パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社
- ・ 株式会社パフォーマ
- ・ パロアルトネットワークス株式会社
- ・ 東日本電信電話株式会社
- ・ 株式会社日立製作所
- ・ ファルコンシステムコンサルティング株式会社
- ・ フォーティネットジャパン株式会社
- ・ フォトロンM&Eソリューションズ株式会社
- ・ 富士ゼロックス株式会社
- ・ 富士通株式会社
- ・ Blackboard Japan株式会社
- ・ 株式会社プリンストン
- ・ 株式会社Box Japan
- ・ 丸善雄松堂株式会社
- ・ 丸紅情報システムズ株式会社
- ・ 三谷商事株式会社
- ・ 三井情報株式会社
- ・ ユニアデックス株式会社
- ・ ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン合同会社
- ・ リコージャパン株式会社
- ・ レッドハット株式会社

加入意義

1. 大学 ICT の包括的組織への参画により学内での縦割り対応から脱却し、戦略的なICT利用のための情報交換・共有の場が得られる
2. 大学間で教育・研究での ICT 利活用のための共通の課題に取り組み、連携（情報交換、グッドプラクティスの共有、共同開発など）を通じた問題解決を行える
3. 研究集会などへの参加により大学 ICT 関連教職員の人材育成（FD,SD）を進められる
4. ICT利活用に関する大学間ベンチマーキングへの参画により大学自身のICT利活用の状況を把握できる

AXIES 大学ICT推進協議会

加入意義（続き）

5. 海外動向（EDUCAUSE年次大会など）の共同調査への参画により国際的状況を把握するとともに、大学におけるICT利活用に関する我が国の強みを世界に発信し、高等教育分野で世界（特に文化的に近いアジア諸国）に貢献する
6. 先進事例の紹介、他大学への展開などにより我が国の大学コミュニティに貢献できる
7. 大学間、産業界との共同開発によるコスト削減や新産業育成等、大学における ICT 利活用のニーズ・シーズをテコに、産業界との新たな関係を構築する

AXIES 大学ICT推進協議会

年次大会

2011年度(設立時)から毎年1回持ち回りで開催しています

・開催主旨

大学ICT推進機構の目的である我が国の高等教育機関及び学術研究機関における情報通信技術を利用した教育、研究、経営等の高度化を図り、もって我が国の教育、学術研究、文化及び産業の発展に寄与するために、会員ならびに国内の高等教育・学術研究機関間で、各種専門的情報の提供ならびに交換を行います。

2019年度

開催日時 2019年12月12日(木)～14日(土)

会場 福岡国際会議場 <https://www.marinemesse.or.jp/congress/>

AXIES 大学ICT推進協議会

年次大会の内容

- ・ **全体会** 国内外からの基調講演等を予定
- ・ **企画セッション**
チュートリアル、パネルディスカッション、講演等の形式で、専門性の高い内容を提供
- ・ **一般セッション**
一般参加者からの口頭発表とポスター発表
- ・ **出展者セミナー** 協賛企業の技術セミナーを予定しています。
- ・ **企業展示**
ICTを活用した教育・研究・経営を支援するための最新技術や商品情報の展示を通して、企業と参加者との交流、情報収集、新たなソリューションの提案や検討の場の提供を予定しています。

AXIES 大学ICT推進協議会

部会の活動内容(1/3)

部会	設置目的・活動内容
CIO部会 主査：深澤（早大）	会員校のCIOの相互交流・相互研修を中心に各大学の抱える共通課題やベストプラクティスを学びCIOのリーダーシップ養成を行う。
ITベンチマーキング部会 主査：岡田（九大）	EDUCAUSEのコアデータサービスと同様の調査を日本国内で行い、国内の大学間でICT関連予算やICT推進度を比較する尺度を提供する。
情報教育部会 主査：和田（鹿屋体育大）	情報教育等について、国内の状況を調査・集約するとともに、ネットワークセキュリティ確保のための適切な情報倫理教育のコンテンツの調査、研究、整備を行う。
オープンソース技術部会 主査：大西（九工大）	会員各組織内でオープンソースソフトウェア（OSS）を活用するために、OSSの利用実態調査を行い、OSS活用に必要な技術を修得すべく合同研修、共同開発、標準化を行う。
学術・教育コンテンツ共有流通部会 主査：山田（放送大）	大学等において開発蓄積された、学術・教育コンテンツの共有・流通・再利用・標準化を促進し、日本の大学の学術と教育の振興を図る。

部会の活動内容(2/3)

部会	設置目的・活動内容
ソフトウェアライセンス部会 主査：丹羽（長崎大）	各大学におけるソフトウェアライセンスの締結・管理・利用・課題について調査・把握し、会員間で情報を共有するとともに、ソフトウェアベンダとの交渉やソフトウェアライセンス管理システムの共同開発を行う。
認証連携部会 主査：細川（慶應義塾）	NIIが進めている学術認証フェデレーション「学認」へ参加するとともに、学内認証環境の利便性を飛躍的に向上させるための活動を行う。
クラウド部会 主査：西村（広大）	大学が保有するプライベートクラウドシステムやクラウドサービス事業者が提供するパブリッククラウドシステムの利用に関するベストプラクティスを共有し、新しいクラウド型サービスの共同開発・共同運用に関し議論と実装を行う。
ICT利活用調査部会 主査：重田（北大）	過去の類似の調査（「ICT活用教育の推進に関する調査研究」等）における調査結果を踏まえ、国内外におけるICT利活用の実態や課題を明らかにする調査を実施し、我が国の高等教育におけるICT利活用のあり方を提案する。
教育技術開発部会 主査：常盤（法政大）	新しいテクノロジーおよび標準規格を教育の場で利用するために、企業と大学が一丸となってそれらを用いた教育手法・技術を共同で開発し、大学におけるそれらの実践的な利活用のあり方を提案する。

部会の活動内容(3/3)

部会	設置目的・活動内容
高品質セキュリティICT部会 主査：長谷川（東北大）	来たるべきIoT・第5世代無線時代におけるICTのあり方について、国内外の研究状況を調査・集約するとともに、国内研究者および技術開発者の議論の場を提供し、将来ICTの実現に向けた準備を行う。
研究データマネジメント部会 主査：青木（京大）	大学の研究者、情報基盤設計者、大学執行部、資金配分機関、オープンサイエンスを推進する研究コミュニティ等、多様なステークホルダからの情報収集、議論の場を設け、研究活動のライフサイクルに沿った、データの収集、生成、活用、保管と公開のためのICT基盤の在り方を提言する。
ORCID部会 主査：森（東工大）	世界規模で普及している研究者IDであるORCID (Open Researcher and Contributor ID) の日本国内での利活用と普及のための情報収集と発信を行う。また、高等教育研究機関における研究者情報、研究情報の電子化とその流通の在り方について検討する。

問い合わせ先

大学ICT推進協議会事務局

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学企画・情報部内

TEL 075-753-2189

E-mail office@axies.jp